

## 漢字学習は子供の智能を高める

欧米の学者たちが推測した通り、「漢字の学習は子供の智能を著しく向上させる働きがある」のです。この命題は、1973(昭和48年)5月、アメリカのフィラデルフィヤで開催された第6回世界人間能力開発会議で、私が発表した時のテーマそのものであります。このことに就いては次の第三章で述べることにします。

第一章でも述べましたやうに私は、小学生の漢字学習について、その指導法の研究調査を徹底的に行ふべく、昭和28年、教育委員会指導主事を辞職して小学生を直接指導すること14年、その間に先に挙げたやうな実に意外な事実を発見しました。それは「漢字を覚える能力は1年生が最も強く、学年が進むにつれて弱まって行く」といふ事でした。これは今までの常識に全く反するものでしたので、昭和43年から幼稚園児に漢字学習をさせる実験を始めたのです。

繰返しますが、幼稚園児の漢字を覚える能力は、1年生よりもずっと強いことが直に判りました。然し、それよりも特筆すべき事は、それまで集中力の無かった子供たちが、何事につけても強い集中力をもつやうに変わった事であります。遊びと学習の切替へも速く、何事も早く理解できて上手に出来るやうになったのです。

毎年卒業前に智能テストを実施してみた幼稚園では、それまで100だった平均IQが漢字学習を始めた年に110になり、次の年には120、3年目には130になる、といふ事件が起りました。それで私は「漢字には幼児の智能を高める何かがある」と考へ、その年(昭和46年)からその原因を探究することに努めました。